



(報道発表資料)

2024年10月7日
西日本電信電話株式会社
大分支店

「サイエンスフェス 2024 in 大分」で“いざという時の公衆電話の使い方”を体験 ～ もしもの時の公衆電話・災害用伝言ダイヤル 171・災害用伝言板 web171 の活用 ～

西日本電信電話株式会社 大分支店（支店長 谷 奈生絵 以下、NTT 西日本 大分支店）は、公益社団法人日本公衆電話会 大分県支部（支部長 荒金 一義 以下、日公会 大分県支部）と連携して、「サイエンスフェス 2024 in 大分（主催 大分合同新聞社、東京理科大学ナノカーボン研究部門）」に、「電話のつながる仕組み」や大規模自然災害時等に大切な人とつながる手段として、「公衆電話・災害用伝言ダイヤル 171・災害用伝言板 web171 の使い方」を紹介する体験ブースを出展いたしました。

1. 背景・目的

「サイエンスフェス 2024 in 大分」は、2019 年より毎年実施されており、毎年多くの県民が参加する大規模イベントです。また、本イベントは今年で 6 回目を迎え、多くの県内外の企業・団体・学校が参画する事業へと成長し、科学館のない大分県において、大人も子どももサイエンスを知り、体験できる大規模科学イベントとして定着しつつあります。

このイベントに、「電話のつながる仕組み」を来場者へ理解していただく目的で、体験ブースを出展しました。その中で、昨今の大規模自然災害への備えとなる、大切な人とつながる手段として、「公衆電話・災害用伝言ダイヤル 171・災害用伝言板 web171 の使い方」についても多くの方に体験していただきました。

2. 「サイエンスフェス 2024 in 大分」の概要

(1) 開催日時

2024 年 9 月 21 日（土） 10 時～17 時

(2) 開催場所

J：COMホルトホール大分（大分市金池南 1 丁目 5-1）

(3) 体験ブーステーマ（NTT 西日本 大分支店）

知ってる？いざという時の公衆電話の使い方

(4) NTT 体験ブース内容

- ・風船と紙コップを使い、空気の振動で声を伝える「風船電話」で電話のつながる仕組みを体験
- ・公衆電話を使って、いざという時の連絡方法を体験
- ・大規模自然災害時に大切な人とつながる連絡方法の体験
(災害用伝言ダイヤル 171・災害用伝言板 web171)

(5) NTT 体験ブース 体験者数

約 370 組のご家族

3. 体験者の声

- ・家に固定の電話がないので、子どもは受話器をとってかける概念がないからこの経験は役立ちました。
- ・公衆電話を最近みかけなくなったので使い方がわかって良かった。いざという時に役に立ちます。
- ・171 の体験は災害時に非常に役に立ちそう。このようなサービスを知らなかった。
- ・思ったより風船電話って相手の声が良く聞こえる。楽しかった。



(当日の体験模様)

4. 今後の展開

今後も、NTT 西日本 大分支店は、日公会 大分県支部と連携し、さまざまな活動を通じて通信の“つなぐ”、“守る”の使命を果たし、地域の皆さまから信頼され続けるよう取り組んでまいります。



左から、山本 貴博 総合プロデューサー（東京理科大学教授）
谷 奈生絵 NTT 西日本 大分支店長

※ニュースリリースに記載している情報は、報道発表日時点のものです。最新の情報とは異なる場合がございますので、
あらかじめご了承ください。